

防風植栽の生育状況の届出

第 1 1 号様式（第 8 条関係）

令和 8 年 月 日

（宛 先）港 区 長

特定事業者

名 称 ： 虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発組合

代表者 ： 理事長 早津 功

所在地 ： 東京都港区虎ノ門三丁目 8 番 19 号

防風植栽の生育状況の届出

風環境対策として実施する防風植栽の生育状況について、別紙の通り報告します。

記

事業の名称	(仮称) 虎ノ門一・二丁目地区第一種市街地再開発事業
特定事業者の 連絡先	(担当部署) 虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発組合 事務局 (担当者) (電話番号) (メールアドレス)
※受付欄	

※印の欄には、記入しないこと。

防風植栽の生育状況の届出

第 1 2 号様式（第 8 条関係）

対象施設の防風植栽に関する機関

防風植栽管理業者 (予定を含む)	(事業所名) イビデングリーンテック株式会社 (代表者) (担当部署) 東京メンテナンス支店 (所在地) 東京都中央区日本橋馬喰町 1-14-5	
防風植栽管理技術者	(所属事業所・機関等の名称) イビデングリーンテック株式会社 東京メンテナンス支店	
	(氏名)	
	☒ 該当資格を有する	(資格の名称) 樹木医 (資格番号)
	☐ 該当資格と同等の経験を有する	※『該当資格と同等の経験を有する』の場合は、経験の実績（計画期間、契約件名、契約先）を一覧で別紙に記載してください。様式は任意とします。

防風植栽の生育状況の届出

第 13 号様式（第 8 条関係）

提出書類の確認

	別紙番号	記載概要	環境アセスメント対応事項	ページ 番 号
防風植栽による防風効果の状況	別紙 5 - 1	防風植栽による防風効果の状況	○	事後調査報告書 (工事の完了後) p.87～95
防風植栽の管理内容	別紙 5 - 2	防風植栽の管理内容	—	—
防風植栽の生育状況	別紙 5 - 3	防風植栽の位置図	—	—
	別紙 5 - 4	現時点における防風植栽の生育状況（総括表）	—	—
	別紙 5 - 5 - 1 ～ 別紙 5 - 5 - 4	現時点における防風植栽の生育状況（樹木別）	—	—

※環境アセスメント手続きに係る資料をもって、各別紙の提出に代えるときは、対応する事項に関して、表中「環境アセスメント対応事項」欄に丸印を付すとともに、当該環境アセスメント資料の対応ページ番号を「ページ番号欄」に記載すること。

(別紙 5 - 1)

- ・環境影響評価書等の風環境項目部分を添付してください。

効果の有無	☒ 予測結果（建設後、 対策後 ）より低減している
	☐ ほぼ予測（建設後、対策後）のとおりである ☐ 予測結果（建設後、対策後）を超過している （一部でも該当する場合は、該当欄にチェックすること）

予測結果を超過している場合の対応策について超過地点毎に記入してください。

(供用後の事後調査報告書の記述の転記可)

対応策	※具体的にご記入ください。

○防風効果が発現していないと考えられる場合（予測結果（建設後、対策前）を超過している場合）
風環境についても再確認を行います。

・下表には、その際の対応窓口について記入すること。

3年後の対応窓口	☐ 変更なし ☐ 変更あり	
	[変更ありの場合の対応窓口]	
	・団体名	_____
	・団体の連絡先	電話番号 _____ メールアドレス _____

4

7.4 風環境

7.4.1 調査事項

調査事項は、表7.4-1に示すとおりである。

表 7.4-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・計画建築物の設置に伴う計画地周辺の平均風向、平均風速及び最大風速等の突風の状況並びにそれらの変化する地域の範囲及び変化の程度
予測条件の状況	・計画建築物の状況(配置、形状、高さ、防風対策の状況、周辺建物の状況等)

7.4.2 調査地域

調査地域は、計画地内及び計画地周辺とした。

7.4.3 調査手法

調査手法は、表7.4-2に示すとおりとした。

表 7.4-2 調査手法

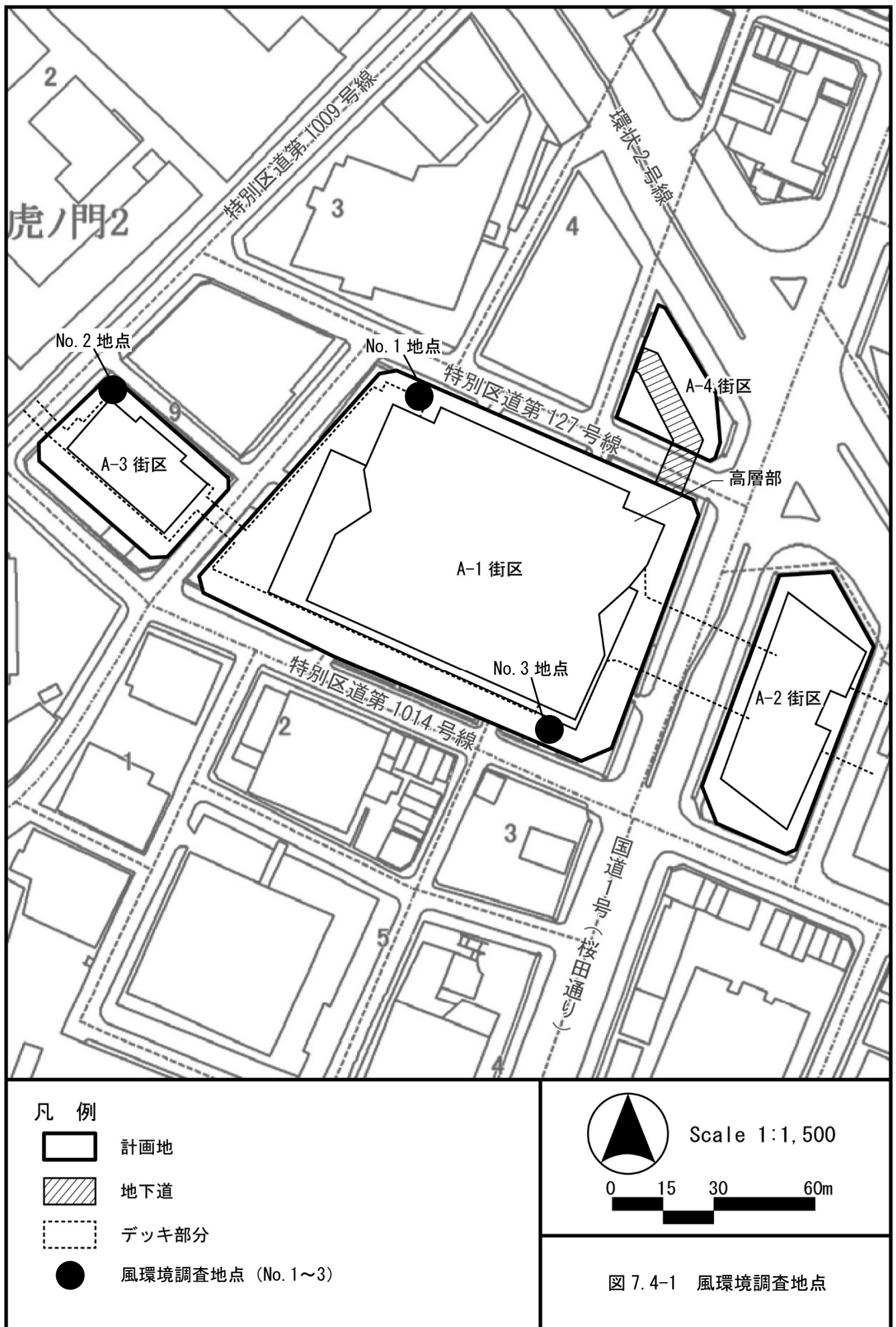
調査事項		計画建築物の設置に伴う計画地周辺の平均風向、平均風速及び最大風速等の突風の状況並びにそれらの変化する地域の範囲及び変化の程度
調査時点		施設の供用開始後とした。
調査期間	予測した事項	施設の供用開始後の令和7年2月1日から令和8年1月31日までの1年間とした。
	予測条件の状況	施設の供用開始後とした。
調査地点	予測した事項	風環境の変化が大きいと予測された、防風植栽の効果を確認出来る地点(No. 1)、虎の門病院への影響を確認出来る地点(No. 2)及び特別区道第1014号線沿いへの影響を確認出来る地点付近(No. 3)とし、図7.4-1に示す3地点(No. 1～3)とした。
	予測条件の状況	計画地内及び計画地周辺とした。
調査方法	予測した事項	「地上気象観測指針」(平成14年3月 気象庁)に定める風向及び風速の連続自動観測を行い、平均風速等の風環境の状況を解析した。風向・風速計の設置状況は、写真7.4-1に示すとおりである。なお、風向及び風速の測定高さは、地上3mである。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料(竣工図等)の整理による方法とした。



写真 7.4-1(1) 風向・風速計の設置状況(No. 1 地点) 写真 7.4-1(2) 風向・風速計の設置状況(No. 2 地点)



写真 7.4-1(3) 風向・風速計の設置状況(No. 3 地点)



7.4.4 調査結果

(1) 調査事項

- 1) 計画建築物の設置に伴う計画地周辺の平均風向、平均風速及び最大風速等の突風の状況並びにそれらの変化する地域の範囲及び変化の程度

ア. 風向・風速

風環境調査地点における風速及び風向の調査結果は、表 7.4-3(1)、(2)に、日最大平均風速の風配図は、図 7.4-2 に示すとおりである。なお、風観測月報は資料編 p.136～171 に示すとおりである。

No.1 地点では、月平均風速は 0.8～1.3m/s、月最大平均風速は 2.8～4.9m/s、月最大瞬間風速は 7.0～9.6m/s、最多風向は北西(NW)であった。

No.2 地点では、月平均風速は 0.6～1.0m/s、月最大平均風速は 2.6～4.5m/s、月最大瞬間風速は 6.3～9.7m/s、最多風向は東南東(ESE)であった。

No.3 地点では、月平均風速は 0.8～1.3m/s、月最大平均風速は 3.0～5.0m/s、月最大瞬間風速は 7.0～12.9m/s、最多風向は北西(NW)であった。

表 7.4-3(1) 風速及び風向の調査結果(概要)

	月平均風速 ^{注1)} (年平均風速)	月最大平均風速 ^{注2)}	月最大瞬間風速 ^{注3)}	最多風向 ^{注4)}
No.1	0.8～1.3m/s (1.0m/s)	2.8～4.9m/s	7.0～9.6m/s	北西(NW)
No.2	0.6～1.0m/s (0.8m/s)	2.6～4.5m/s	6.3～9.7m/s	東南東(ESE)
No.3	0.8～1.3m/s (1.1m/s)	3.0～5.0m/s	7.0～12.9m/s	北西(NW)

注1) 月平均風速とは、10分間毎の平均風速の月平均値を示す。

注2) 月最大平均風速とは、10分間毎の平均風速の月最大値を示す。

注3) 月最大瞬間風速とは、3秒間毎の平均風速の月最大値を示す。

注4) 最多風向とは、10分間毎の風向のうち年間で最も多かった風向を示す。

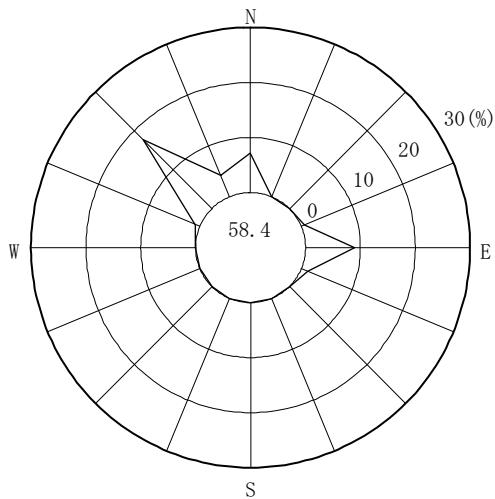
【参考】事後調査の結果(事後調査報告書(工事の完了後)より抜粋)

表 7.4-3(2) 風速及び風向の調査結果 (月間値)

風速単位 m/s

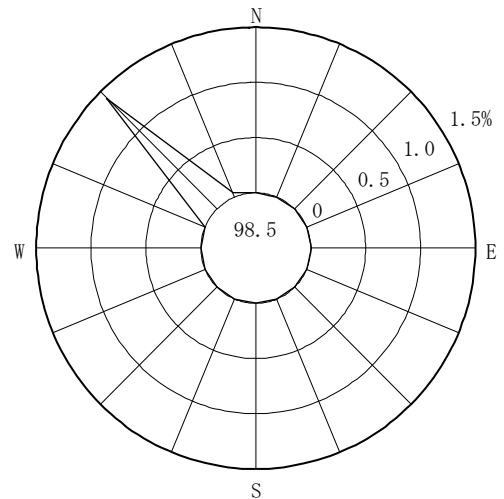
		令和 7 年											令和 8 年
		2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
No. 1 地点	月平均風速	0.9	1.0	1.0	1.0	1.1	1.3	1.0	1.0	0.9	0.8	0.9	1.1
	月最大平均風速	2.8	4.5	4.1	4.5	4.7	4.9	4.6	3.8	4.1	3.6	3.9	4.5
	月最大瞬間風速	8.6	8.1	8.4	8.5	8.6	9.3	8.2	7.0	9.2	7.7	8.2	9.6
	月最多風向	N	E	NW	E	NW	NW	NW	NW	E	N	NNW	NNW
No. 2 地点	月平均風速	0.8	0.9	1.0	0.9	0.8	1.0	0.8	0.8	0.8	0.6	0.7	0.7
	月最大平均風速	2.9	3.5	3.2	4.5	2.8	3.2	2.7	2.9	3.3	2.6	3.0	3.4
	月最大瞬間風速	8.8	7.2	9.1	8.9	8.7	9.0	7.1	7.7	6.3	7.2	7.3	9.7
	月最多風向	NNW	NNW	ESE	ESE	ESE	ESE	ESE	ESE	NW	NW	NNW	NW
No. 3 地点	月平均風速	1.0	1.2	1.2	1.1	1.0	1.3	1.0	1.1	1.0	0.8	0.9	0.9
	月最大平均風速	3.0	4.3	4.4	4.9	3.9	4.2	3.8	3.4	5.0	3.0	3.0	3.8
	月最大瞬間風速	8.1	10.0	9.1	10.2	8.6	10.6	7.8	7.0	12.9	7.0	9.0	8.3
	月最多風向	W	W	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	W	W	W

1 m/s 以上



円内の数値は1.0m/s未満の頻度(%)

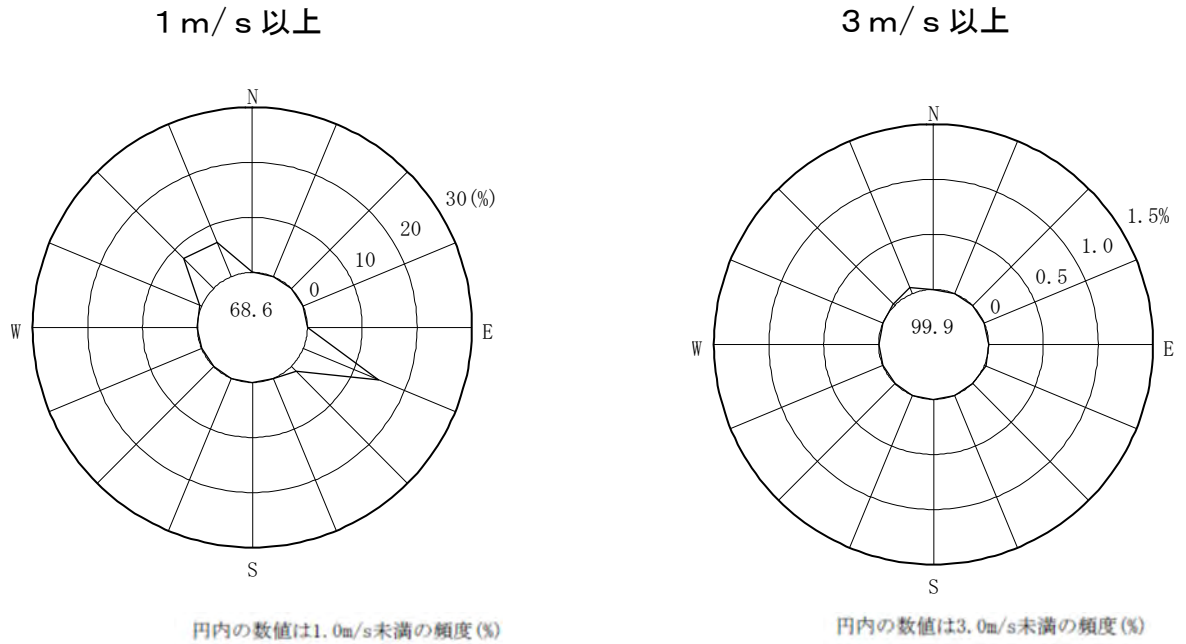
3 m/s 以上



円内の数値は3.0m/s未満の頻度(%)

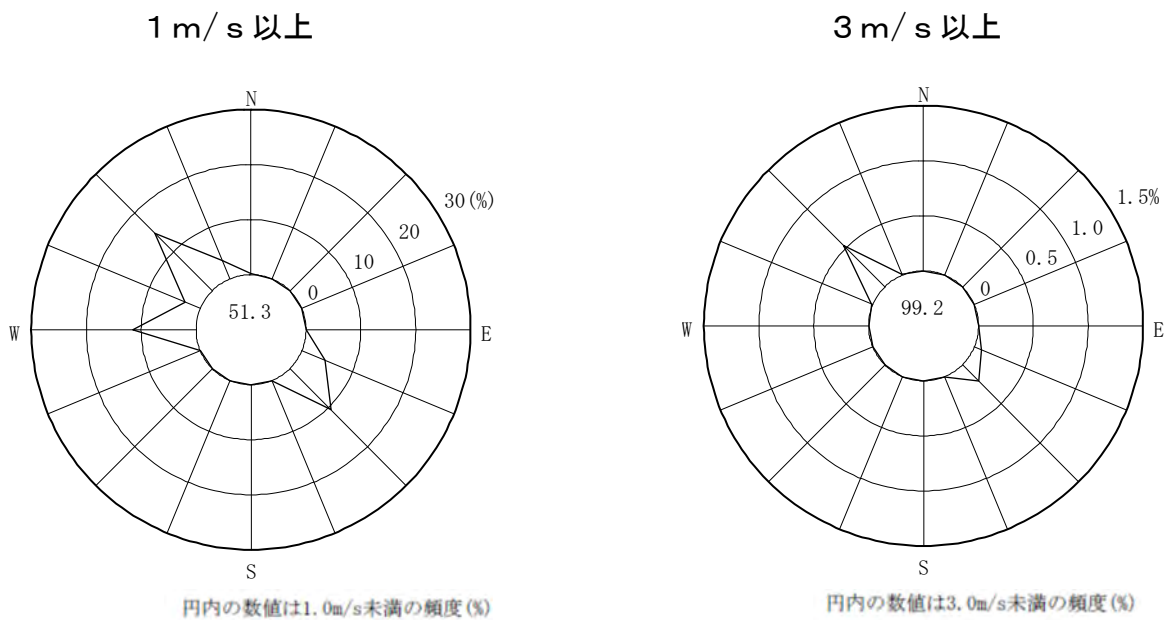
注) 日常的に吹く風と比較的強風時に吹く風の傾向を示すため、1m/s 以上と 3m/s 以上で整理している。
なお、1m/s 未満は弱風時で傾向をつかみにくいため、整理対象から外している。

図 7.4-2(1) 風配図 (No. 1 地点)



注) 日常的に吹く風と比較的強風時に吹く風の傾向を示すため、1m/s 以上と 3m/s 以上で整理している。
 なお、1m/s 未満は弱風時で傾向をつかみにくいため、整理対象から外している。

図 7.4-2(2) 風配図 (No. 2 地点)



注) 日常的に吹く風と比較的強風時に吹く風の傾向を示すため、1m/s 以上と 3m/s 以上で整理している。
 なお、1m/s 未満は弱風時で傾向をつかみにくいため、整理対象から外している。

図 7.4-2(3) 風配図 (No. 3 地点)

【参考】事後調査の結果(事後調査報告書(工事の完了後)より抜粋)

イ. 風環境評価

風環境評価は、表 7.4-4 に示す評価尺度を用いて、風環境を領域区分 A～D に分類する方法により行った。

風環境の評価結果は、表 7.4-5 に示すとおり全地点ともに領域 A であった。

表 7.4-4 風環境の評価尺度(風工学会の提案による風環境評価基準)

区 分	評価基準	累積頻度 55% の風速	累積頻度 95% の風速
領域 A	住宅地相当 住宅地としての風環境、または比較的 穏やかな風環境が必要な場所	≤ 1.2 m/秒	≤ 2.9 m/秒
領域 B	低中層市街地相当 住宅地・市街地としての風環境、一般 的風環境	≤ 1.8 m/秒	≤ 4.3 m/秒
領域 C	中高層市街地相当 事務所街としての風環境、又は比較的 強い風が吹いても我慢できる場所	≤ 2.3 m/秒	≤ 5.6 m/秒
領域 D	強風地域相当 超高層建物の足元でみられる風環境、 一般には好ましくない風環境	> 2.3 m/秒	> 5.6 m/秒

出典：「市街地の風の性状」（昭和 61 年第 9 回風工学シンポジウム論文(株)風工学会研究所）

表 7.4-5 事後調査結果の風環境評価

調査 地点	累積頻度 55% の風速		累積頻度 95% の風速		風環境 評価
No. 1	1.1 m/秒	A	2.7 m/秒	A	A
No. 2	0.9 m/秒	A	2.0 m/秒	A	A
No. 3	1.2 m/秒	A	2.7 m/秒	A	A

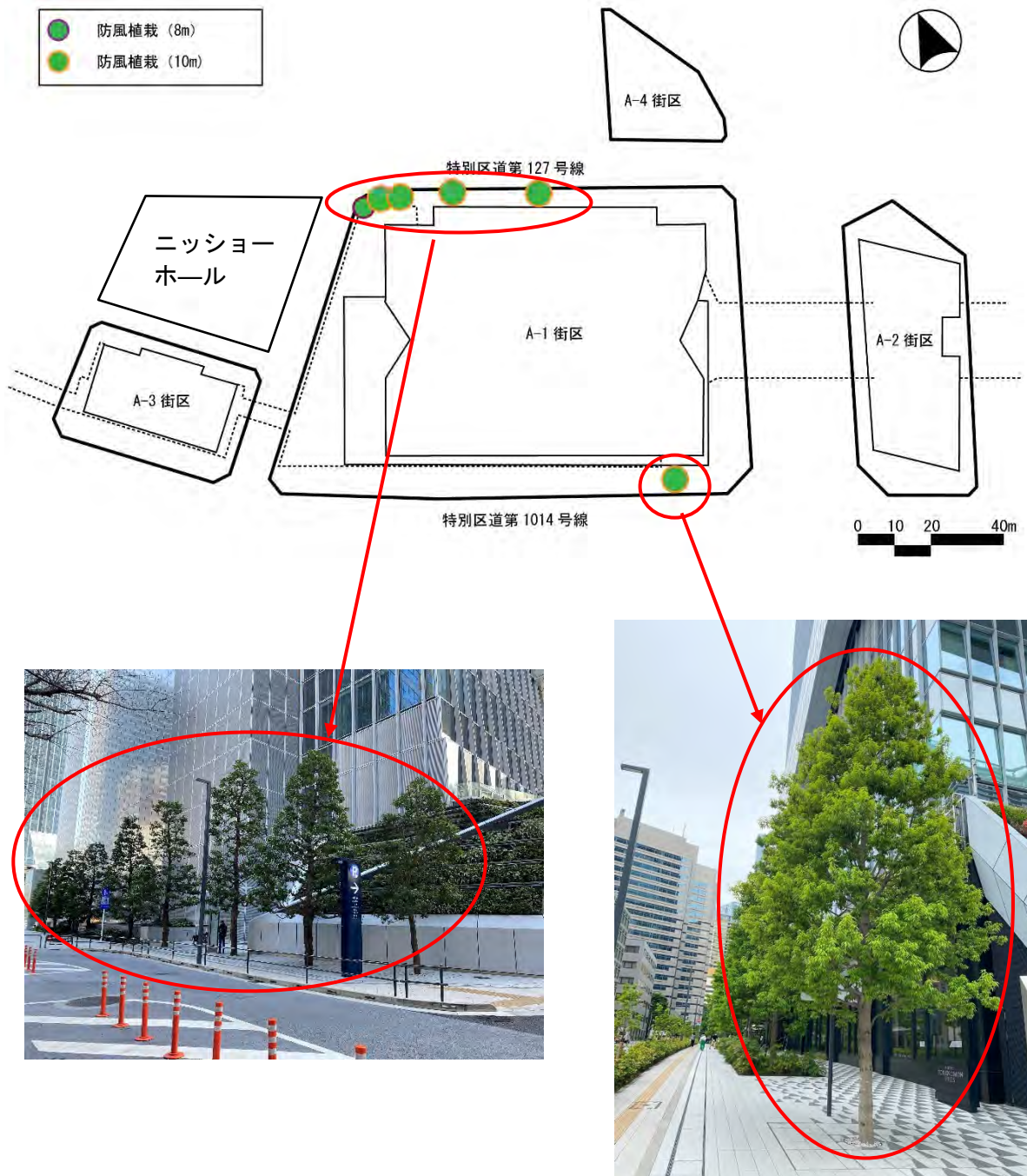


図7.4-3 防風対策の配置

7.4.5 予測結果と事後調査結果との比較検討

- (1) 計画建築物の設置に伴う計画地周辺の平均風向、平均風速及び最大風速等の突風の状況並びにそれらの変化する地域の範囲及び変化の程度

予測結果(変更届(令和7年1月)における再予測結果)と事後調査結果との比較は表7.4-6に示すとおりである。3地点とも予測結果が領域B(低中層市街地相当)、事後調査結果が領域A(住宅地相当)であり、事後調査結果は予測結果に対して良好な風環境であった。

なお、変更届(令和7年1月)の予測条件に見込んでいなかった計画地南西側に隣接するニッショーホール(図7.4-3参照)の建て替えが行われた。

計画地周辺の風環境は、住宅地相当の風環境であり、計画地周辺の空間用途に対応した風環境であると考えられる。

表 7.4-6 予測結果と事後調査結果の比較

事後調査結果					予測結果（防風対策後）		
調査 地点	累積頻度 55% の風速		累積頻度 95% の風速		風環境 評価	予測 地点	風環境 評価
No. 1	1.1 m/秒	A	2.7 m/秒	A	A	201	B
No. 2	0.9 m/秒	A	2.0 m/秒	A	A	130	B
No. 3	1.2 m/秒	A	2.7 m/秒	A	A	205	B

注1) 予測結果は、変更届(令和7年1月)における再予測結果であり、建設後(防風対策後)の風環境評価を示している。

2) 比較する予測地点は、事後調査地点の最寄りの地点としている。

防風植栽の生育状況の届出

(別紙 5 - 2)

防風植栽の管理内容

※防風植栽の管理方法を示した書類（管理の手引き等）を添付してください。

※下表には、防風植栽の管理の内容の概要を記載してください。

※竣工後 1 年間の防風植栽の管理を通じ、管理方法を変更した点、改善した点については、下線で表現してください。

防風植栽の管理方法	
灌水方法	【灌水設備概要】 ドリップチューブ敷設による灌水を行う。※全ての植栽地・ツリーサークル共 また、年間タイマースケジュールにて、季節毎・エリア毎の灌水量をコントロールする。 (防風植栽①～⑤は北側、⑥は南側) 【灌水回数】 春 (4/1～6/30) : 3 回/週、夏 (7/1～9/30) : 7 回/週×毎日、 秋 (10/1～11/30) : 3 回/週、冬 (12/1～3/30) : 2 回/週 ※気象条件によりタイマースケジュールの適宜変更を行う。(昨今の猛暑日等を考慮)
剪定方法	【剪定時期】 <u>6-7 月 (年 1 回)</u> 【剪定・刈込方法】 美観上・実用上・生理上で、樹木本来の目的や機能に沿うようバランスを考慮した整枝を行う。
施肥の方法	【高木植栽への施肥（肥料種別、施肥量、施肥方法等）】 肥料種別については、施主（管理担当者）と協議の上、選定を行う。 また施肥量や方法については、樹木の状態や季節により必要に応じて調整を行う。 ※<u>年 1 回 (冬季)</u>
除草の方法	【頻度】年 4 回 (3・5・7・9 月) 【方法】手取り除草
病虫害駆除の方法	【実施方法】殺虫材散布・注入による病虫害駆除 【頻度】年 3 回程度 (随時) ※タブノキは夏季のテッポウムシによる木食い被害が起きやすいため、適宜対応を行う。

注) 下線部分は「防風植栽の設置の届出」から変わった箇所を示す。

防風植栽の管理方法(つづき)

支柱補強

【植栽地内】

防風植栽⑤について、「杭+井桁式」の地下支柱を採用。井桁部分に松板を採用しており、腐食にも強い仕様としている。また、ワイヤー支柱と併用する事で、倒木の際の被害を最小限に留める。

【ツリーサークル内】

防風植栽①～④、⑥について、「単管+井桁式」の地下支柱を採用。単管で側面に突っ張り（ジャッキ）増強を図っている。また植栽地内と同様、井桁タイプと併用する事で設置当初から安定した環境を作り出し、根の活着を促す。

【虎ノ門一・二丁目地区第一種市街地再開発事業 緑地管理】

1.業務の目的

建物外周緑地の維持管理を目的とする。

2.業務範囲

建物外周緑地を業務範囲とする。

3.業務内容

建物外周緑地

日常灌水
中木剪定・刈込
中低灌木刈込
樹木施肥(中木・中低灌木)
殺虫剤散布(中木・中低灌木)
中高木剪定・刈込
樹木施肥(中高木)
殺虫剤散布(中高木)
手取り除草

上記作業項目を適期に実施する。

4.作業手順

(1)基準条件

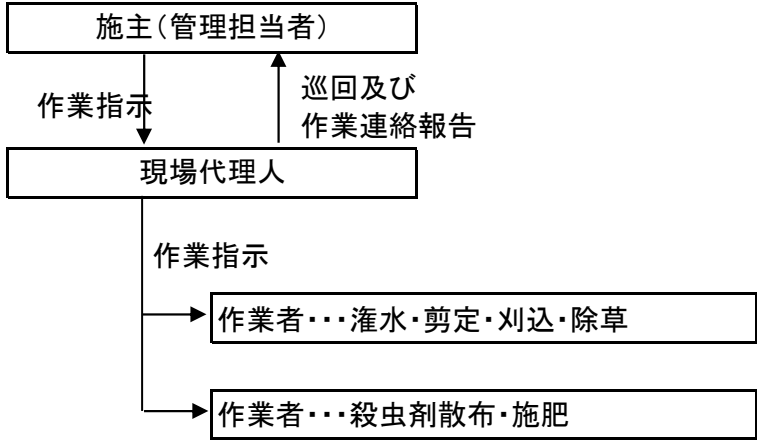
- 日常灌水 … 季節や天候状況に応じて水量を調節しながら散水し、乾燥を防止する。
また使用水量を計測する。
- 剪定・刈込 … 美観上、実用上、生理上で、樹木本来の目的や機能に沿うように
バランスを考え樹木の枝を切除する。
- 殺虫剤散布 … 害虫の侵蝕により美観が損なわれ、尚且つ施設利用者に被害もしくは
不快感を与えることを防止する。
- 施肥 … 樹木が健全に生育し本来の美しい緑を保たせ、病虫害、風害、公害
などの諸因子に対する抵抗力を増進させる。
- 除草 … 樹木の保護、美観維持、環境衛生を目的とする。

(2)作業対象箇所

建物外周緑地全般とする。

5.作業手順

(1)指示系統及び完了報告系統



(2)作業の具体的手順

- 日常灌水
ホースの用意及び散水栓へ設置 → 散水 → 片付け
- 剪定
徒長枝・カラム枝の切除や撤去 → バランスを考えた整枝 → 切り枝清掃
- 刈込
徒長枝切除 → バランスを考えた整枝 → 切り枝清掃
- 殺虫剤散布
使用薬剤の選定 → 認可 → 散布
- 除草
手取り除草 → 清掃
- 施肥
使用肥料の選定 → 認可 → 散布

(3)作業頻度・日時

建物外周緑地

作業工種	年間回数	工程	作業時間
日常灌水	2～4回/週	毎月	9:00～17:00
中木剪定・刈込	1	12月	9:00～17:00
中低灌木刈込	2	6・12月	9:00～17:00
樹木施肥(中木・中低灌木)	1	2月	9:00～17:00
殺虫剤散布(中木・中低灌木)	3	随時	9:00～17:00
中高木剪定・刈込	1	6～7月	9:00～17:00
樹木施肥(中高木)	1	冬季	9:00～17:00
殺虫剤散布(中高木)	3	随時	9:00～17:00
手取り除草	4	3・5・7・9月	9:00～17:00

6.負担区分

(1)顧客側負担事項

業務を行うための用水、電力、作業車両の駐車スペースを無償にて供給するものとする。

(2)業者側負担事項

委託業務遂行にあたり必要な機械器具、車両、資材消耗品、残材等すべて負担する。

7.補償事項

委託業務施工中に、施設、第三者に損害を与えたときは、その賠償の責務を負わねばならない。但し、施主(管理担当者)が事情やむえぬと認めたときはこの限りではない。

8.作業工程表

	日常灌水	中木剪定刈込	中低灌木刈込	樹木施肥	殺虫剤散布
1月	●				
2月	●			●	
3月	●				
4月	●				
5月	●				
6月	●		●		●
7月	●				●
8月	●				
9月	●				●
10月	●				
11月	●				
12月	●	●	●		

	中高木剪定刈込	樹木施肥	殺虫剤散布	手取り除草	
1月					
2月		●			
3月				●	
4月					
5月				●	
6月	●		○		
7月			○	●	
8月					
9月			○	●	
10月					
11月					
12月					

○・・・害虫発生時の対応となるため暫定

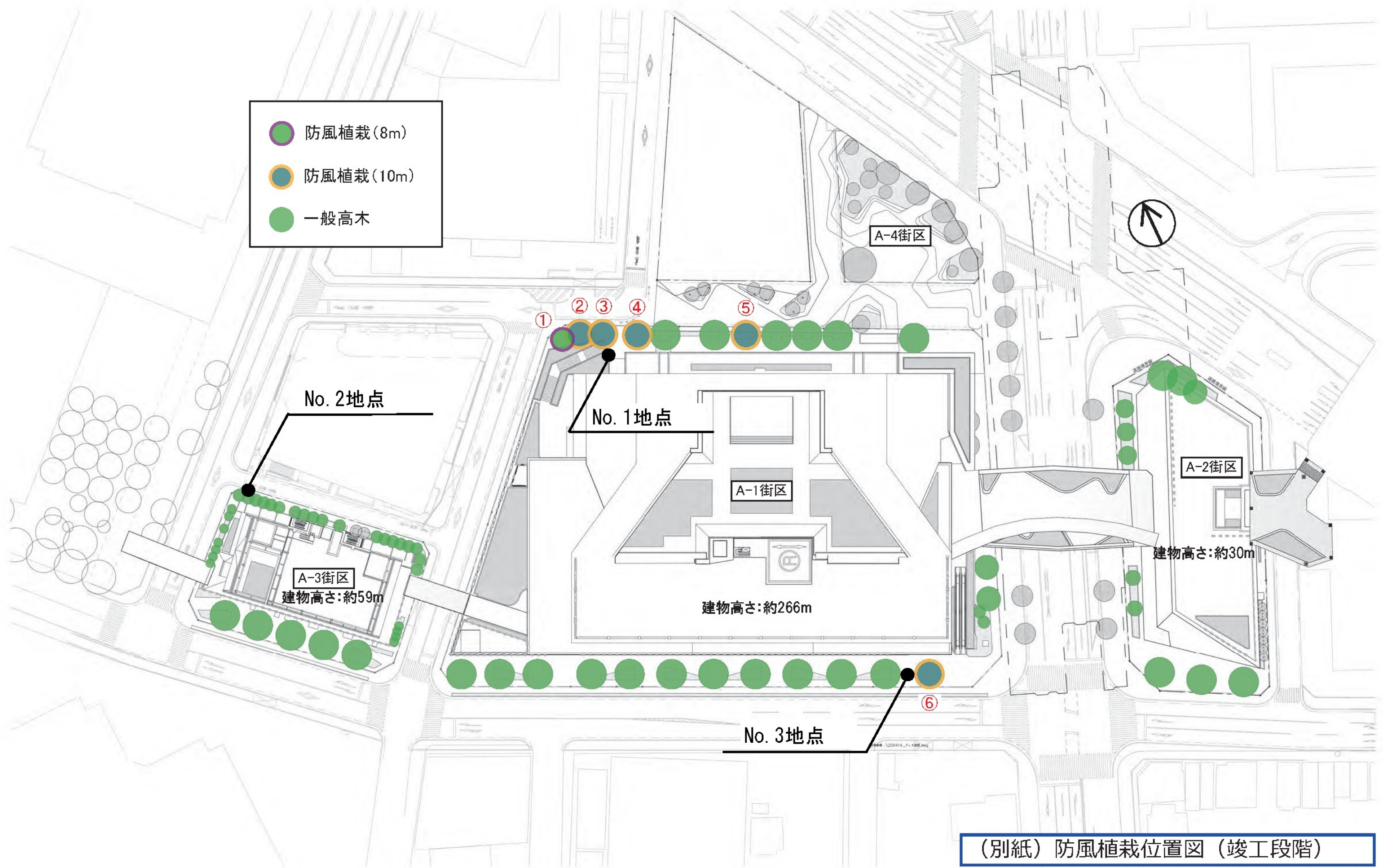
防風植栽の生育状況の届出
(別紙 5－3)

防風植栽の生育状況

1．防風植栽の位置図

防風植栽の位置図
※現状を反映した位置図とすること。 ※図面を記す植栽は、防風植栽の設置の届出時（竣工時）の図を基本とします。前届出時と変更があった場合は、その箇所が分かるようにしてください。
別紙参照

- 防風植栽(8m)
- 防風植栽(10m)
- 一般高木



(別紙) 防風植栽位置図 (竣工段階)

防風植栽の生育状況の届出

(別紙 5 - 4)

2. 現時点における防風植栽の生育状況 (総括表)

※各項目には、1年後の樹木の生育状況の評価結果(別紙 5 - 5 - 4)の内容を記載してください。

※外観診断結果の欄は、別紙 5 - 5 - 4 の防風植栽別の生育状況の結果より、一年後の防風植栽外観診断で各診断項目のうち 「なし」と評価されなかった項目の数を記入してください。

※総合評価の欄は、別紙 5 - 5 - 4 の防風植栽別の生育状況の結果より、一年後の防風植栽外観診断の総合評価を転記してください。

番号	防風植栽			外観診断結果 (最左選択枝以外のチェック数)				総合 評価	備考
	樹種	樹高(m)	幹の太さ (目盛幹周)	樹木全体 枝先	根元	幹	骨格とな る大枝		
①	タブノキ	8.0	50cm	0	2	1	2	A	
②	タブノキ	10.0	50cm	0	2	1	1	A	
③	タブノキ	10.0	50cm	0	1	1	2	A	
④	タブノキ	10.0	60cm	0	1	1	2	A	
⑤	タブノキ	10.0	60cm	0	1	1	1	A	
⑥	シラカシ	10.0	80cm	0	1	0	0	A	

防風植栽の生育状況の届出
(別紙5－5－1)

3. 現時点における防風植栽の生育状況（樹木別）

番号	①	樹種	タブノキ
----	---	----	------

[防風植栽の樹冠の状況-①]

北、もしくは南面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 08 月 28 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	<5・6月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	<8・9月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

3. 現時点における防風植栽の生育状況（樹木別）

番号	②	樹種	タブノキ
----	---	----	------

[防風植栽の樹冠の状況-①]

北、もしくは南面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 08 月 28 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	<5・6月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	<8・9月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

3. 現時点における防風植栽の生育状況（樹木別）

番号	③	樹種	タブノキ
----	---	----	------

[防風植栽の樹冠の状況-①]

北、もしくは南面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 08 月 28 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	<5・6月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	<8・9月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

3. 現時点における防風植栽の生育状況（樹木別）

番号	④	樹種	タブノキ
----	---	----	------

[防風植栽の樹冠の状況-①]

北、もしくは南面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 08 月 28 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	<5・6月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	<8・9月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

3. 現時点における防風植栽の生育状況（樹木別）

番号	⑤	樹種	タブノキ
----	---	----	------

[防風植栽の樹冠の状況-①]

北、もしくは南面			
竣工後	＜全景写真＞  撮影日:2023 年 08 月 28 日		
	【拡大図】  ワイヤー支柱		
竣工後〜1年後	＜全景写真＞  撮影日:2026 年 7 月 1 日	＜5・6月頃の写真＞  撮影日:2026 年 6 月 1 日	＜8・9月頃の写真＞  撮影日:2026 年 8 月 3 日

3. 現時点における防風植栽の生育状況（樹木別）

番号	⑥	樹種	シラカシ
----	---	----	------

[防風植栽の樹冠の状況-①]

北、もしくは南面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 09 月 19 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	<5・6月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	<8・9月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

防風植栽の生育状況の届出
(別紙 5－5－2)

番号	①
----	---

[防風植栽の樹冠の状況-②]

東、もしくは西面			
竣工後	< 全景写真 >  撮影日: 2023 年 08 月 23 日		
	< 全景写真 >  撮影日: 2026 年 7 月 1 日	< 5・6 月頃の写真 >  撮影日: 2026 年 6 月 1 日	< 8・9 月頃の写真 >  撮影日: 2026 年 8 月 3 日

番号	②
----	---

[防風植栽の樹冠の状況-②]

東、もしくは西面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 08 月 23 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	< 5 ・ 6 月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	< 8 ・ 9 月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

番号	③
----	---

[防風植栽の樹冠の状況-②]

東、もしくは西面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 08 月 23 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	< 5 ・ 6 月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	< 8 ・ 9 月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

番号	④
----	---

[防風植栽の樹冠の状況-②]

東、もしくは西面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 08 月 23 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	< 5 ・ 6 月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	< 8 ・ 9 月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

番号	⑤
----	---

[防風植栽の樹冠の状況-②]

東、もしくは西面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 08 月 23 日	【拡大図】  ワイヤー支柱	
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	< 5 ・ 6 月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	< 8 ・ 9 月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

番号	⑥
----	---

[防風植栽の樹冠の状況-②]

東、もしくは西面			
竣工後	<全景写真>  撮影日:2023 年 09 月 01 日		
	<全景写真>  撮影日:2026 年 7 月 1 日	< 5 ・ 6 月頃の写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日	< 8 ・ 9 月頃の写真>  撮影日:2026 年 8 月 3 日

防風植栽の生育状況の届出
(別紙 5－5－3)

番号	①
----	---

[防風植栽の根の状況]

防風植栽の根の状況	
竣工後	<根周りの写真>  撮影日:2023 年 07 月 27 日
1年後	<根回りの写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日

番号	②
----	---

[防風植栽の根の状況]

防風植栽の根の状況	
竣工後	<根周りの写真>  撮影日:2023 年 07 月 27 日
1年後	<根回りの写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日

番号	③
----	---

[防風植栽の根の状況]

防風植栽の根の状況	
竣工後	<根周りの写真>  撮影日:2023 年 08 月 05 日
1年後	<根回りの写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日

番号	④
----	---

[防風植栽の根の状況]

防風植栽の根の状況	
竣工後	<根周りの写真>  撮影日:2023 年 06 月 14 日
	<根回りの写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日

番号	⑤
----	---

[防風植栽の根の状況]

防風植栽の根の状況	
竣工後	<根周りの写真>  撮影日:2023 年 05 月 28 日
1年後	<根回りの写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日

番号	⑥
----	---

[防風植栽の根の状況]

防風植栽の根の状況	
竣工後	<根周りの写真>  撮影日:2023 年 06 月 05 日
1年後	<根回りの写真>  撮影日:2026 年 6 月 1 日

防風植栽の生育状況の届出

(別紙 5 - 5 - 4)

番号	①
----	---

[管理の経過※1]

剪定（植栽直後のため軽剪定）、施肥、灌水（季節に応じて頻度設定）
特記事項：枯枝の随時剪定、カミキリムシフラス発生部に薬剤注入実施

[1年後の防風植栽外観診断]

<樹木全体>

診断項目		樹木全体・枝先等		
樹幹の傾斜・湾曲		■傾斜・湾曲していない	□傾斜している(度)	□不自然に湾曲している
枝先	枝折れの有無	■なし	□あり	
	新芽の有無	■見られた	□見られない	
	着葉率	■密である	□粗である	□ほとんど葉はない
	葉の大きさ	■標準の大きさ	□小さい葉が散見される	□多くの葉が小さい

<根元、幹、骨格となる大枝>

診断項目	根元		幹		骨格となる大枝	
樹皮枯死・欠損・不腐部	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上
芯に達した開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
芯に達していない開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
キノコの発生	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）
木槌打診による異常音	■なし	□あり	■なし	□あり	■なし	□あり
胴枝枯れ性などの病害	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）
虫穴・虫フン・ヤニの有無	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	□なし	■あり 種名(カミキリムシ)
鋼棒貫入異常（ cm）	■なし	□あり	—		—	
ルートカラーの有無	□見える	■見えない	—		—	

※1：管理の経過；防風植栽の管理に当たり特段配慮した事項（灌水方法、剪定方法、支柱、紗かけ等）について記載。
また、1年間の管理の中で問題があった場合は、その対応内容を記載すること。

<総合評価>

評価結果 [A]※2	評価理由：生育状況に問題はない。ただしカミキリムシの穿孔あり。
-----------------	---------------------------------

※2：総合評価については、下記より記号を選択

[A] .生育状況に問題はない。[B] .問題があったが、対策により現在は問題がない。

[C] .生育状況に問題があったため、対策を行い経過観察中。[D] .生育状況に問題があり、今後対策が必要。

[今後の対応内容]

対策時期	4～10 月(カミキリムシ幼虫活動期)
対策内容	フラス発生箇所に薬剤注入実施

番号	②
----	---

[管理の経過※1]

剪定（植栽直後のため軽剪定）、施肥、灌水（季節に応じて頻度設定） 特記事項：枯枝の随時剪定、カミキリムシフラス発生部に薬剤注入実施
--

[1年後の防風植栽外観診断]

<樹木全体>

診断項目		樹木全体・枝先等			
樹幹の傾斜・湾曲		■傾斜・湾曲していない		□傾斜している(度) □不自然に湾曲している	
枝先	枝折れの有無	■なし		□あり	
	新芽の有無	■見られた		□見られない	
	着葉率	■密である		□粗である □ほとんど葉はない	
	葉の大きさ	■標準の大きさ		□小さい葉が散見される □多くの葉が小さい	

<根元、幹、骨格となる大枝>

診断項目	根元		幹		骨格となる大枝	
樹皮枯死・欠損・不腐部	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
芯に達した開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
芯に達していない開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
キノコの発生	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）
木槌打診による異常音	■なし	□あり	■なし	□あり	■なし	□あり
胴枝枯れ性などの病害	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）
虫穴・虫フン・ヤニの有無	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	□なし	■あり 種名(カミキリムシ)
鋼棒貫入異常（cm）	■なし	□あり	—		—	
ルートカラーの有無	□見える	■見えない	—		—	

※1：管理の経過；防風植栽の管理に当たり特段配慮した事項（灌水方法、剪定方法、支柱、紗かけ等）について記載。
また、1年間の管理の中で問題があった場合は、その対応内容を記載すること。

<総合評価>

評価結果 [A]※2	評価理由：生育状況に問題はない。ただしカミキリムシの穿孔あり。
-----------------	---------------------------------

※2：総合評価については、下記より記号を選択

[A] .生育状況に問題はない。[B] .問題があったが、対策により現在は問題がない。

[C] .生育状況に問題があったため、対策を行い経過観察中。[D] .生育状況に問題があり、今後対策が必要。

[今後の対応内容]

対策時期	4～10 月(カミキリムシ幼虫活動期)
対策内容	フラス発生箇所に薬剤注入実施

番号	③
----	---

[管理の経過※1]

剪定（植栽直後のため軽剪定）、施肥、灌水（季節に応じて頻度設定） 特記事項：枯枝の随時剪定、カミキリムシフラス発生部に薬剤注入実施
--

[1年後の防風植栽外観診断]

<樹木全体>

診断項目		樹木全体・枝先等		
樹幹の傾斜・湾曲		■傾斜・湾曲していない	□傾斜している(度)	□不自然に湾曲している
枝先	枝折れの有無	■なし	□あり	
	新芽の有無	■見られた	□見られない	
	着葉率	■密である	□粗である	□ほとんど葉はない
	葉の大きさ	■標準の大きさ	□小さい葉が散見される	□多くの葉が小さい

<根元、幹、骨格となる大枝>

診断項目	根元		幹		骨格となる大枝	
樹皮枯死・欠損・不腐部	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上
芯に達した開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
芯に達していない開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
キノコの発生	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）
木槌打診による異常音	■なし	□あり	■なし	□あり	■なし	□あり
胴枝枯れ性などの病害	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）
虫穴・虫フン・ヤニの有無	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	□なし	■あり 種名(カミキリムシ)
鋼棒貫入異常（cm）	■なし	□あり	—		—	
ルートカラーの有無	□見える ■見えない		—		—	

※1：管理の経過；防風植栽の管理に当たり特段配慮した事項（灌水方法、剪定方法、支柱、紗かけ等）について記載。
また、1年間の管理の中で問題があった場合は、その対応内容を記載すること。

<総合評価>

評価結果 [A]※2	評価理由：生育状況に問題はない。ただしカミキリムシの穿孔あり。
-----------------	---------------------------------

※2：総合評価については、下記より記号を選択

[A] .生育状況に問題はない。[B] .問題があったが、対策により現在は問題がない。

[C] .生育状況に問題があったため、対策を行い経過観察中。[D] .生育状況に問題があり、今後対策が必要。

[今後の対応内容]

対策時期	4～10 月(カミキリムシ幼虫活動期)
対策内容	フラス発生箇所薬剤注入実施

番号	④
----	---

[管理の経過※1]

剪定（植栽直後のため軽剪定）、施肥、灌水（季節に応じて頻度設定） 特記事項：枯枝の随時剪定、カミキリムシフラス発生部に薬剤注入実施
--

[1年後の防風植栽外観診断]

<樹木全体>

診断項目		樹木全体・枝先等		
樹幹の傾斜・湾曲		■傾斜・湾曲していない	□傾斜している(度)	□不自然に湾曲している
枝先	枝折れの有無	■なし	□あり	
	新芽の有無	■見られた	□見られない	
	着葉率	■密である	□粗である	□ほとんど葉はない
	葉の大きさ	■標準の大きさ	□小さい葉が散見される	□多くの葉が小さい

<根元、幹、骨格となる大枝>

診断項目	根元		幹		骨格となる大枝	
樹皮枯死・欠損・不腐部	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上
芯に達した開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
芯に達していない開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
キノコの発生	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）
木槌打診による異常音	■なし	□あり	■なし	□あり	■なし	□あり
胴枝枯れ性などの病害	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）
虫穴・虫フン・ヤニの有無	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	□なし	■あり 種名(カミキリムシ)
鋼棒貫入異常（ cm）	■なし	□あり	—		—	
ルートカラーの有無	□見える ■見えない		—		—	

※1：管理の経過；防風植栽の管理に当たり特段配慮した事項（灌水方法、剪定方法、支柱、紗かけ等）について記載。
また、1年間の管理の中で問題があった場合は、その対応内容を記載すること。

<総合評価>

評価結果 [A]※2	評価理由：生育状況に問題はない。ただしカミキリムシの穿孔あり。
-----------------	---------------------------------

※2：総合評価については、下記より記号を選択

[A] .生育状況に問題はない。[B] .問題があったが、対策により現在は問題がない。

[C] .生育状況に問題があったため、対策を行い経過観察中。[D] .生育状況に問題があり、今後対策が必要。

[今後の対応内容]

対策時期	4～10 月(カミキリムシ幼虫活動期)
対策内容	フラス発生箇所薬剤注入実施

番号	⑤
----	---

[管理の経過※1]

剪定（植栽直後のため軽剪定）、施肥、灌水（季節に応じて頻度設定） 特記事項：枯枝の随時剪定、カミキリムシフラス発生部に薬剤注入実施
--

[1年後の防風植栽外観診断]

<樹木全体>

診断項目		樹木全体・枝先等		
樹幹の傾斜・湾曲		■傾斜・湾曲していない	□傾斜している(度)	□不自然に湾曲している
枝先	枝折れの有無	■なし	□あり	
	新芽の有無	■見られた	□見られない	
	着葉率	■密である	□粗である	□ほとんど葉はない
	葉の大きさ	■標準の大きさ	□小さい葉が散見される	□多くの葉が小さい

<根元、幹、骨格となる大枝>

診断項目	根元		幹		骨格となる大枝	
樹皮枯死・欠損・不腐部	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	□なし	■1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
芯に達した開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
芯に達していない開口空洞	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上	■なし	□1/3 未満 □1/3 以上
キノコの発生	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）
木槌打診による異常音	■なし	□あり	■なし	□あり	■なし	□あり
胴枝枯れ性などの病害	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）	■なし	□あり 病名（ ）
虫穴・虫フン・ヤニの有無	■なし	□あり 種名（ ）	■なし	□あり 種名（ ）	□なし	■あり 種名(カミキリムシ)
鋼棒貫入異常（cm）	■なし	□あり	—		—	
ルートカラーの有無	□見える ■見えない		—		—	

※1：管理の経過；防風植栽の管理に当たり特段配慮した事項（灌水方法、剪定方法、支柱、紗かけ等）について記載。
また、1年間の管理の中で問題があった場合は、その対応内容を記載すること。

<総合評価>

評価結果 [A]※2	評価理由：生育状況に問題はない。ただしカミキリムシの穿孔あり。
-----------------	---------------------------------

※2：総合評価については、下記より記号を選択

[A] .生育状況に問題はない。[B] .問題があったが、対策により現在は問題がない。

[C] .生育状況に問題があったため、対策を行い経過観察中。[D] .生育状況に問題があり、今後対策が必要。

[今後の対応内容]

対策時期	4～10 月(カミキリムシ幼虫活動期)
対策内容	フラス発生箇所に薬剤注入実施

番号	⑥
----	---

[管理の経過※1]

剪定（植栽直後のため軽剪定）、施肥、灌水（季節に応じて頻度設定）

[1年後の防風植栽外観診断]

<樹木全体>

診断項目		樹木全体・枝先等	
樹幹の傾斜・湾曲		■傾斜・湾曲していない	□傾斜している（度） □不自然に湾曲している
枝先	枝折れの有無	■なし	□あり
	新芽の有無	■見られた	□見られない
	着葉率	■密である	□粗である □ほとんど葉はない
	葉の大きさ	■標準の大きさ	□小さい葉が散見される □多くの葉が小さい

<根元、幹、骨格となる大枝>

診断項目	根元	幹	骨格となる大枝
樹皮枯死・欠損・不腐部	■なし □1/3 未満 □1/3 以上	■なし □1/3 未満 □1/3 以上	■なし □1/3 未満 □1/3 以上
芯に達した開口空洞	■なし □1/3 未満 □1/3 以上	■なし □1/3 未満 □1/3 以上	■なし □1/3 未満 □1/3 以上
芯に達していない開口空洞	■なし □1/3 未満 □1/3 以上	■なし □1/3 未満 □1/3 以上	■なし □1/3 未満 □1/3 以上
キノコの発生	■なし □あり 種名（ ）	■なし □あり 種名（ ）	■なし □あり 種名（ ）
木槌打診による異常音	■なし □あり	■なし □あり	■なし □あり
胴枝枯れ性などの病害	■なし □あり 病名（ ）	■なし □あり 病名（ ）	■なし □あり 病名（ ）
虫穴・虫フン・ヤニの有無	■なし □あり 種名（ ）	■なし □あり 種名（ ）	■なし □あり 種名（ ）
鋼棒貫入異常（ cm）	■なし □あり	—	—
ルートカラーの有無	□見える ■見えない	—	—

※1：管理の経過；防風植栽の管理に当たり特段配慮した事項（灌水方法、剪定方法、支柱、紗かけ等）について記載。
また、1年間の管理の中で問題があった場合は、その対応内容を記載すること。

<総合評価>

評価結果 [A]※2	評価理由：生育状況に問題はない。
-----------------	------------------

※2：総合評価については、下記より記号を選択

[A] .生育状況に問題はない。[B] .問題があったが、対策により現在は問題がない。

[C] .生育状況に問題があったため、対策を行い経過観察中。[D] .生育状況に問題があり、今後対策が必要。

[今後の対応内容]

対策時期	
対策内容	